

脱原発アクションプログラム 2020年までに原発ゼロ 2050年には自然エネルギー100%へ

社民党は5月25日、「2020年までに原発ゼロ、2050年には自然エネルギー100%に」を柱とする「脱原発アクションプログラム」を決め、広く世に問う取り組みを始めました。

世界の自然エネルギーの発電能力(設備容量)は昨年、初めて原子力発電を上回りました。原発をやめ、50年までに全ての電力需要を自然エネルギーで賄う計画はドイツをはじめ、ヨーロッパ諸国で広がりを見せています。自然エネルギー時代の扉はすでに開かれているのです。

原発の新規建設は中止し、地震の危険が大きいところに建つ原発や運転開始後40年経った危ない老朽原発は廃炉にします。実は、原発に頼らなくても電力供給力には一定の余裕があり、これまでの原発運転優先を改めて、適切な対策をとれば、夏場の電力需要ピーク時を乗り切るとは十分可能なのです。

原発事故に苦しめられ、他国にも迷惑と心配をかけている日本こそが、世界のエネルギー政策転換のリーダー役を務めなければなりません。社民党の脱原発アクションプログラムへのご注目とご理解をお願いいたします。

↓社民党は5月23日、脱原発アクションプログラム策定へ会議を開いた。



脱原子力をめざす

社民党